

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公開番号】特開 2000-25422 (P2000-25422A)

【公開日】平成 12 年 1 月 25 日 (2000.1.25)

【出願番号】特願 平 11-179159

【国際特許分類】

B 6 0 C 13/00 (2006.01)

B 6 0 B 27/04 (2006.01)

B 6 0 B 29/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 13/00 D

B 6 0 C 13/00 J

B 6 0 B 27/04 M

B 6 0 B 29/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 23 日 (2006.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 取付けホイール (2、34、43) と、タイヤ (1、33、40) とを有し、該タイヤは、前記取付けホイールに取り付けられたときに該取付けホイールと接触するようになったタイヤの部分とトレッドとの間に側壁 (4、32、41) を備え、前記取付けホイールに軸線方向に固定されかつ該取付けホイール上で自由に回転できるように取り付けられるホイールハブキャップ (6、30、42) を形成する要素を更に有する、車両に取り付けられるように設計された組立体において、一方の側壁がハブキャップと協働して、ハブキャップを側壁に対して良好な角度位置に固定しかつ前記組立体の使用中に前記角度位置を維持することを特徴とする組立体。

【請求項 2】 前記ハブキャップ (6、30) は、タイヤの一方の側壁 (4、32) に向かって半径方向に突出する少なくとも 1 つの延長部 (9、31) を有し、各延長部 (9、31) は転動中の側壁 (4、32) の変形に従動するのに適した変形弾性を有し、前記側壁は、側壁に対するハブキャップの角度位置を固定し、維持する手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載の組立体。

【請求項 3】 前記タイヤの少なくとも一方の側壁には、周方向以外の方向に配向された少なくとも 1 つの溝 (21) が成形されており、該溝は、前記半径方向延長部と協働して、タイヤとハブキャップ (31) とを周方向に一体化することを特徴とする請求項 2 に記載の組立体。

【請求項 4】 前記少なくとも一方の側壁の外面には、周方向に間隔を隔てた少なくとも 2 つの突出部 (12、13) が設けられており、該突出部はハブキャップの半径方向延長部を受け入れるように設計された空間を形成することを特徴とする請求項 2 に記載の組立体。

【請求項 5】 前記ハブキャップ (6) には少なくとも 1 つの摺動ブラケット (18、19、20) が設けられ、該摺動ブラケットは、側壁に対するハブキャップの角度位置を固定しかつ維持するため、タイヤの側壁 (4) に設けられた座 (21、22、23) 内に配置されるように最も大きい半径に向かって摺動できることを特徴とする請求項 3 また

は 4 に記載の組立体。

【請求項 6】 少なくとも 1 つの延長部には、前記側壁 (3 2) の外面に設けられたゴム突出部 (3 6) を受け入れる開口 (3 5) が設けられていることを特徴とする請求項 2 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の組立体。

【請求項 7】 タイヤの側壁の少なくとも一方が、タイヤの回転軸線 XX' に向かって半径方向に向かって延びる少なくとも 1 つの延長部 (4 4) を有し、各延長部 (4 4) は、前記組立体を車両に使用している間に、側壁に対するハブキャップの角度位置を固定しかつ維持すべくハブキャップに設けられた座 (4 5) と協働するように設計されていることを特徴とする請求項 1 に記載の組立体。

【請求項 8】 前記ハブキャップの相手部分と協働する側壁部分は一体に接着されていることを特徴とする請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の組立体。

【請求項 9】 前記ハブキャップはゴム配合物で作られていることを特徴とする請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載の組立体。

【請求項 10】 前記組立体を形成する部品 (タイヤ、ホイールおよびハブキャップ) の組立て後に、一まとまりを呈する装飾モチーフ (2 7) が得られることを特徴とする請求項 1 に記載の組立体。